

令和6年2月20日

～ 新日本フィル創立者の一人を、すみだトリフォニーホールで偲ぶ ～

故・小澤 征爾 氏の追悼コーナーを設置

新日本フィルハーモニー交響楽団の創立者のひとり、桂冠名誉指揮者だった小澤 征爾 氏が、2024年2月6日（火）に逝去されました。

墨田区フランチャイズオーケストラで、すみだトリフォニーホールを活動拠点とする新日本フィルハーモニー交響楽団と、すみだトリフォニーホールが協力し、2月15日（木）から18日（日）までの4日間、同氏を偲び、献花や記帳ができるコーナーを同ホールのロビーに設置。多くの区民をはじめ、同氏の音楽を愛したファンの皆さんが、故人を偲びました。

また、2月16日（金）・17日（土）に開催した『すみだクラシックへの扉 #20 具現化する久石の音楽世界 ジュピター&春の祭典』公演において、久石 譲 氏指揮のもと、新日本フィルハーモニー交響楽団が同氏への献奏をおこないました。

【小澤氏とすみだトリフォニーホールとの関わりについて】

- ・ホールのこけら落とし公演にて指揮

トリフォニーホール開館日である1997年10月26日（日）に、同氏の指揮による『マーラー / 交響曲第3番』にて幕開けとなりました。世界的な指揮者による演奏にてこけら落としが行われるといった、他に無い開館事業となりました。演奏後は観客が総立ちとなって拍手が送られました。

- ・ホール建設時における音響設計へのアドバイス

音楽専門ホールを建設していく中で、プロフェッショナルの視点から、アコースティックな音楽（いわゆる生音）が美しく響くためのアドバイスをいただき、優れた音響性能を追求でき、開館26年経った今でも、素晴らしい音色を響かせることができるホールとして、様々なコンサートが実施されています。

また、同氏には、上記のこけら落とし公演の際に「素晴らしい音楽の場となりますように。」とメッセージをいただきました。すみだトリフォニーホールでは、小澤 征爾 氏のこの言葉とともに、「音楽都市すみだ」の象徴として、これからも運営していきます。

《写真》 追悼コーナーの様子



小澤征爾氏への献奏の様子



《問合せ》

地域力支援部 文化芸術振興課 03-5608-6212

公益財団法人 墨田区文化振興財団（すみだトリフォニーホール指定管理者）

03-5608-5404

お問い合わせは午後5時までにお願ひします。